

都市計画道路網再編素案検討委員会 第3回委員会資料

「第2回 北九州市都市計画道路網再編素案検討委員会」議事要旨とその対応

議事要旨	対 応
(1) 前回(第1回)委員会(平成15年6月実施)における議事概要について、事務局から説明があり、市のホームページに掲載して公表することが了承された。	平成16年4月1日より公表
(2) 都市計画道路網の再編について、15団体、約300名の市民と意見交換が行われ、その内容の報告が事務局からあった。道路網見直しについては、その必要性が高いことや計画の廃止もやむを得ないことと考える意見が大多数であること。渋滞、走行性が悪い、道路が分かりにくい、歩きにくいなどと市民が感じている箇所の説明。 また、今後もパブリックコメントの募集により、幅広く市民の意見を徴収していくことが事務局から報告され、了承された。	-
(3) 問題箇所の抽出とその対応方法については、基本道路網(整備済み、事業中及び事業予定の都市計画道路と都市計画道路以外の主要な国道・県道・市道で構成した道路網)が将来交通(平成32年)を処理する上で、旅行速度、バス旅行速度、大型車の走行の点から問題がある区間として抽出されたものをベースに、市民アンケートによる現在の問題箇所と都市計画審議会答申(平成14年12月)における道路網整備方針を考慮して、基本道路網では将来的に対応できないと想定される問題箇所(13箇所)が抽出されたことが事務局から報告され、了承された。 抽出された箇所は、早期に強化すべき区間、実施に向けて検討すべき区間、長期的に取り組む区間、に分類して対応することが事務局から説明され、了承された。	-
(4) 委員から「大気汚染・騒音・振動など環境面から大型車の商業・住宅地域の通行が問題視されており、この対策に効果的な道路網の形成などについて検討する必要がある」との指摘があった。	道路網の機能分類を明確にし、大型車については主要幹線道路や幹線道路への経路誘導を図っていくよう、関係機関を含め働きかけを進めていく。 あわせて、整備済み区間における問題箇所(4車線で幅員20m以下区間など)については、交通安全事業など様々な整備手法を活用しながら、交差点改良などの渋滞対策や舗装改良などの環境負荷軽減を図っていくよう、建設局を含め関係機関と連携して取り組んでいく。
(5) 委員から「市民アンケートでは生活道路の改善や歩行者・自転車及び環境・景観など道路に関する多くの問題が指摘されており、このことについて、今回の再編検討で、市がどのように対応していくのかを明確にする必要がある」との指摘があった。	アンケートでの指摘をリスト化し、道路計画課と連携して道路関連部局へ周知を図っている。道路部や建設事務所と調整を行いながら、対応可能な課題について、その対応策と実施時期を検討していく。
(6) 未着手路線については、検討対象65路線が示され、問題箇所との関連から幹線性の分類を行い、幹線性の低い路線については、計画を継続すべき区間、個別に検討を進める区間、廃止をすすめる区間に分類して対応することが事務局から説明され、了承された。	-
(7) 今後のスケジュールとして、3月下旬から4月下旬まで一般市民を対象に意見募集を行うこと、及び次回委員会は5月の中旬を予定していることが事務局から報告された。	意見募集実施 期間：平成16年3月29日～4月27日(30日間)